

当事者視点に基づくメディア アクセシビリティ向上技術の開発



中島 佐和子

講師 博士（工学）

Sawako Nakajima

大学院理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻 人間情報工学コース

研究キーワード

視覚障害、アクセシビリティ、ユニバーサルデザイン、映画・映像、メディア、
ヒューマンインタフェース

研究概要

放送、映画、Web動画、SNSを通じて、映像コンテンツは日々増大し、文化や教育などの様々な分野において重要な位置を占めています。一方で、超高齢社会にあって身体特性は多様化し、それらの情報享受における格差が拡大していることもまた事実です。

● 視覚障害者のための映像鑑賞技術の開発

障害当事者や映画制作者らと連携し、音声合成や自然言語処理を用いて、映像を言語で説明する音声ガイド制作技術を開発しています。

● 合成音声による音声表現の開拓

合成音声のパラメタ調整技術の開発により、障害当事者の作品制作への参加を促すと同時に、新たな音声表現を開拓しています。

以上より、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、情報アクセシビリティの向上を進めます。

障害当事者・映画製作現場との連携による 音声合成を用いた音声ガイド開発と映画上映



ソウルバリアフリー映画祭での映画上映と音声ガイド検証



開発した音声ガイド制作ソフト(映像部分)『ドルフィンブルーフジ、もういちど宙へ』予告編©2007『ドルフィンブルー』製作委員会



- 障害当事者
- 映画制作者
- 音声ガイド制作者
- 支援者

平成21年度障害者保健福祉推進事業「バリアフリーによる新しい映画鑑賞の技術開発研究事業」

予想される応用例

- 映像のテキスト化技術の開発
- 映像検索技術の開発
- Webアクセシビリティ向上

産業界へのアピールポイント

2024.4 改正障害者差別解消法の施行により、民間事業者も合理的配慮の提供が法的義務化されました。今後、当事者連携による技術開発は必須と考えます。